

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原小学校 会長氏名 渡邊 真一郎

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 児童の安全確保と健康な心身の保持
 - (1) 生活安全標語の看板設置とクリアファイル作成
 - (2) 愛の一声運動（あいさつ運動）の実施
 - (3) ニュースポーツ「親子モルック」の開催
 - (4) 親子学習会（味噌づくり）、給食試食会の実施
 - (5) スポーツフェスティバル開催時の児童の安全確保と巡視、駐車場・駐輪場の巡視
- 2 よりよい学習環境の整備
 - (1) 親子奉仕作業、校内美化活動の実施
 - (2) 古紙、アルミ缶の回収
 - (3) ベルマークの回収、仕分け、集計作業

取り組みの効果

1. ☒ 有 2. ☐ 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- 1 児童の安全確保と健康な心身の保持
 - (1) 校内で交通安全標語を募集し、看板として正門前に設置した。また、P T Aとまちづくり協議会が連携して、交通安全標語の書かれたクリアファイルを作製し、全校児童に配布した。児童・保護者の交通安全に対する意識が高まった。
 - (2) 毎月15日に、正門やまちづくりセンター側通用門にて、あいさつ運動を実施した。児童がP T Aの方や教職員とあいさつを交わすことで、元気よく、笑顔で登校する姿が見られた。
 - (3) 全校児童から参加を募り、親子モルック大会を実施した。教職員と保護者、保護者同士の親睦を深める良い機会となった。
 - (4) 味噌作りでは、一緒に作業することで、親子のコミュニケーションを図ることができた。給食試食会では、給食の栄養価や工夫、食育について知ってもらうことができた。
 - (5) スポーツフェスティバル開催中の巡視活動により、児童が安心して学校行事に取り組むことができた。また、駐車場、駐輪場の巡視を行ったことで、保護者もスムーズにスポーツフェスティバルを参観することができた。
- 2 よりよい学習環境の整備
 - (1) 奉仕作業と校内美化活動を実施した。多くの参加者が集まり、普段の清掃ではできない箇所や草取りをしてもらうことにより、学習環境がより良くなった。
 - (2) 古紙回収強化月間を中心に、古紙やアルミ缶を回収した。収益は、学校の環境改善費用に充てることができた。
 - (3) ベルマークの回収では、年間6回の作業日を設け、多くの点数を集めることができた。集まった点数を、児童の活動に必要な物の購入に役立てた。

—反省点—

- ・「子どもたちの笑顔のために」「PTAは子どもたちの応援団」を合言葉に活動できた。
- ・児童数の減少や外国籍保護者の増加等の影響で、各地区からの評議員の選出が難しくなっている。

—改善案—

- ・各地区からの評議員選出人数を減らし、全校にボランティアを募集しながら、広く参加者を募る形式を取り入れ、子どもたちのための創意ある活動を進めていきたい。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 今泉小学校 会長名 高橋 直人

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

【環境整備部】

- ・親子奉仕作業（5・9月）

【体育保健部】

- ・運動会駐車警備（5月）
- ・親子レク（ナイトウォーク）（11月）

【成人教育部】

- ・「会報 いずみ」発行（年2回：6月・3月）

【生活指導部】

- ・登下校の見守り
- ・かけこみ110番プレート点検・協力依頼
- ・運動会駐車警備（5月）

【家庭教育】

- ・給食参観・試食会（10月）
- ・卒業生に贈るコサージュ発注、準備（3月）

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・教職員だけではできない教育環境の整備を行うことができた。（奉仕作業、運動会）
- ・参加者に好評だった。（給食参観・試食会）
- ・親子で楽しめた。（会報、親子レク）
- ・卒業を祝うことができた。（コサージュ）

－反省点－

－改善案－

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立伝法小学校 会長氏名 鈴木 洋介

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・生活指導部では、町内での旗振り活動やかけこみ110番の家の点検・出前授業を行い、児童が安全に登下校できるようにした。
- ・成人教育部では、保護者・児童が参加しての睡眠講座を行ったり、PTA新聞を発行したりした。
- ・環境整備部では、学校の環境整備のためにアルミ缶・古紙回収活動や奉仕作業を行った。
- ・家庭教育部では、給食試食会を行ったり、卒業式で児童がつけるコサージュを手作りました。
- ・総務部では、わくわくフェスタの出店やPTA合同研修会の会場運営、総務会を行った。また、総務部と各部では、月に1回、地下道清掃を行った。
- ・組織の見直しを行い、令和7年度の地区役員数を大幅に減らした。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
— 具体的な効果 —

- ・旗振り活動では、児童が安全に登下校することができ、保護者の安心感につながった。
- ・アルミ缶・古紙回収や奉仕作業は、多くの方が協力してくださり、学校の環境整備を行うとともに、保護者同士のコミュニケーションにもつながった。
- ・PTA新聞では、学校やPTA活動の様子を保護者に広報することができた。
- ・卒業式のコサージュ作りでは、6年生の保護者も参加し、卒業生のへの思いを込めてコサージュ作りを行うことで、親子の絆を深めるきっかけとなった。
- ・わくわくフェスタでは、総務部が出店して、多くの児童を楽しませた。保護者や児童、PTAのコミュニケーションの場となった。
- ・毎月、地下道清掃を行うことで、児童が安心・安全に登下校することができた。

— 反省点 —

- ・特になし

— 改善案 —

- ・旗振り活動のやり方について、各地区からの意見があり、今後どのような形で進めていくか検討する必要がある。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 神戸小学校

会長氏名 後藤隆章

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

少子化や世帯数の減少を鑑み、持続可能な運営体制を構築するために以下の点を中心に活動内容の精査、および組織改変に向けて取り組んだ。

- ① 活動内容の精査および実施方法の変更
- ② 役員選出手続きの変更
- ③ 関連地域団体との連携をした組織改変の推進

取り組みの効果

1. 有

－具体的な効果－

①について

従来、慣例的に実施していた活動内容について、役員を中心に、PTA でしかできない活動内容に精査した。具体的には、古紙回収リサイクル事業を廃止した一方、地域夏祭りや文化祭の出店については、希望する子どもたちが店員として働けるお店を設置するなどの活動内容に変更した。

②について

これまでPTAの活動内容に対して、担当する役員を配置していたため、運営に必要な役員数が多くなり、保護者への負担が多くなる傾向があった。そこで、参加できる役員が参加できる範囲で活動協力をしていただくことを基本運営方針とし、必要最低限の役員人数のもとで運営ができるようになった。また、地区別や学年別の選出を廃止するとともに、暗黙のルールとされていた役員未経験者から選出する決まりの撤廃などを実施した。

③について

地域の子供会やまちづくり協議会など、地域の関連団体と情報共有、および連携を図りながら、活動内容の修正や取り組みの協力などをすすめた。その結果、重複する活動内容を精査することや、活動への参加協力の進め方を中心に変更修正を図ることができ、運営負担の軽減を進めることができた。

－改善案－

次年度以降、PTA 役員における3部会の廃止を進めていく予定であり、地域関連団体の意見交換をしながら、規約改正などの運営組織体制の修正を図っていく予定である。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立元吉原小学校 会長氏名 伊勢谷 真史

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

学校と保護者が協力して、子どもたちにとって安心・安全な学習環境をつくっていくことを目指し、各部の活動に取り組んだ。

- ・成人教育部 ・来年度のP T A役員決めに向け、役員抽選会の方法や各部の活動を紹介するための資料を作成した。
- ・家庭教育委員 ・学校給食についての保護者の理解を深められるよう、給食試食会を実施した。創立 150 周年でもあったので、給食の歴史について学ぶ機会となった。
・地区文化祭では落書きせんべいの出店をした。
・卒業式のコサージュでは、資料の中から候補を選び、6年生の子どもが投票して決定できるようにした。納品後には検品をした。
- ・生活指導部 ・子どもたちが安心・安全に登下校できるよう、見回りパトロールと交通安全指導を実施した。子供の安全を考え、4月当初からかけこみ 110 番の家の確認をしたり、地域の危険個所の確認をしたりした。また、年々人の出入りが多くなってきている毘沙門天大祭で特別パトロールを実施した。
- ・体育保健部 ・子どもたちが安心・安全に体育活動ができるように環境を整えた。年2回の奉仕作業では、環境整備部と合同で校庭の環境整備を行った。5月の奉仕作業では、プールサイドの草刈りも行った。
・運動会前には、事前に遊具の危険個所を確認した。運動会当日には朝から遊具の固定、競技中のパトロール、そして片付けを率先して行った。
- ・環境整備部 ・子どもたちが安全に校庭で運動ができるように、校内の環境を整えた。奉仕活動では、体育保健部と共に運動場、丸池、校舎周辺の環境整備を行った。
・古紙回収では、リサイクル業者の協力を得て、古紙回収教科週間を設け、古紙回収コンテナを設置して古紙回収を保護者や地域の方に呼び掛けた。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・昨年度から事業の精選を進めていることで、各専門部の活動が明確となり、部長・副部長が熱心に取り組む姿が見られた。

－反省点－

- ・環境整備部と保健体育部が合同で実施した奉仕活動では、保護者の協力が十分に得られず、一部の保護者に負担が掛かってしまっている現状があった。

－改善案－

- ・来年度から専門部が3つになるので、事務局と各部の部長・校内部長との連絡を密にし、先を見通して活動を進めていきたい。
- ・保護者の協力を得られるために、活動の呼び掛け方法を考えていきたい。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立東小学校

会長名

長谷川 国弘

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ PTA 総会
- ・ かけこみ 110 番
- ・ PTA 環境整備作業(地域の方、子供たちと共に取り組む)
- ・ 浮島スポーツフェスティバル(地域と合同体育祭)の実施
- ・ どんど焼き

取り組みの効果

1. ☒ 有 2. ☐ 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

ー具体的な効果ー

- ・ PTA の環境整備活動2回目が浮島スポーツフェスティバル前に位置付けられていることで、整った環境で行うことができた。
- ・ 地域と合同で行った浮島スポーツフェスティバルでは、PTA 種目を行った。また、中学生がボランティアで種目の準備や片付けなどに協力してくれ、学校・PTA・地域・中学生がつながる行事になった。
- ・ 昨年度休日開催していたはるやま祭りや文化祭においてが店を開いていたが、今年度地域に任せたため、保護者、学校の負担が減った。

ー反省点ー

- ・ かけこみ 110 番の挨拶回りが、暑い時期になってしまった。
- ・ 地域の清掃活動と環境整備活動の日が重なってしまった。

ー改善案ー(昨年度から引き続いて)

- ・ 文化祭の出場者は有志で募ったのが、ほぼ全児童参加していた。また、「地域の方にもっと学校に来てほしい」という児童の要望もあるため、来年度は、地域と学校を繋げる行事として文化祭と同日に参観日を実施する計画が学校でされている。
- ・ かけこみ 110 番宅への挨拶を暑い時期がくる前の5月の初旬にできるよう、令和6年度内に、かけこみ 110 番のお宅に次年度継続できるかどうかの確認を行う。
- ・ 地域の清掃活動や須津中の環境整備日とも重ならないように、事前に学校の環境整備の日を伝えておく。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立須津小学校 会長氏名 窪田 雅彦

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

・PTA 総会 ・かけこみ 110 番 ・古紙回収 ・校区内巡視 ・PTA 新聞発行 ・奉仕
作業 ・運動会巡視 ・ボッチャ大会 ・給食試食会 ・須津地区文化祭 ・安全の
日

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

仕事内容もあまり負担なく取組めるように変化しているためありがたかった

それぞれの役割を果たしていて、良かったです

安全の日は低学年の子にとって下校ルールも見直すためにも良いと思う

古紙回収は効果あると思う

運動会巡視で安全に運動会を行うことができたと思う

－反省点－

古紙回収は学校に常設場所があると良いと思う

管理上難しいかもしれないが、他校は実施しているので、その方がいつでも持ち込め
て良い⇒法令上設置不可なことを確認済み

－改善案－

役員の負担軽減の為に減らして下さっているが、これ以上減らす必要は無いかと考える

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第一小学校 会長氏名 南 研吾

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・6/8（土）第1回校内環境整備作業（環境整備部）

保護者約70名と教職員約20名で、普段できない校内の清掃を行った。第2回は荒天のため、中止した。

結果、環境整備部の活動テーマ「子供たちが健康に過ごせる環境づくり」に迫ることができた。また、参加者からよりよい学習環境作りに関する意見やアイデアをもらえたことは大きな収穫である。

さらに、「学校の中の様子が分かる。」と、保護者に好評であった。

翌週登校した児童からは、「校内がきれいになった。」と、感動の声が聞かれた。

・地域の行事等への動員：地域とともにある吉永一小P T Aとして、地区文化の発展と行事成功の一端を担った。具体的には環境整備や駐車場誘導など。

- ・ふれあいリクリエーション（体育保健部）は、参加希望者少数の為、開催を断念。

・今年度の取組をもって、来年度、組織改編や活動の吟味縮小を計画立案することに決定した。令和8年度より、新組織での活動を計画している。

取り組みの効果

1. ☒ 有 2. ☐ 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

上記にもあるが、環境整備作業は保護者、子供たち両者にとって価値のあるものであった。一方で、来年度、会則の改訂や組織改編が必要であることを改めて認識した。

今年度も、昨年度同様、P T A会員どうしのつながりが深まったこと、来年度以降の吉永第一小学校P T Aとしてやるべきことがはっきりしたこと、明確になったことが「効果」だと考える。

－反省点－

P T A活動の内容の周知を徹底すること。

P T A行事の精選によって、各専門部の活動が削減され、活動がほとんどない部が、生まれつつあること。

任意団体であると知らなかったという意見が多く寄せられたので、その旨をP T A総会で周知すること。

－改善案－

- ・理事会の組織のスリム化。
- ・連絡ツール（メール、マチコミ等）をより活用すること。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 吉永第二小学校 会長氏名 拇速 功二

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- | | |
|-----------------|----------------|
| ・朝のあいさつ運動 | ・かけこみ 110 番確認 |
| ・親子クリーン作戦（奉仕作業） | ・スポーツフェスティバル協力 |
| ・リサイクル活動 | ・読み聞かせボランティア |
| ・給食試食会 | ・星を見る会 |

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

上記の活動を通じて、児童が積極的に挨拶をしたり、校内美化に努めたり、仲間と関わろうとしたりする姿勢が見られた。

また、保護者同士の交流が深まり、学校と家庭、地域との連携がより強化されるきっかけとなった。

－反省点－

人によって、PTA 活動への参加・協力について温度差がある。

－改善案－

より多くの方に関心をもってもらえるように、広報の仕方を工夫検討する。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 原田小学校

会長氏名 安藤彰祥

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①まちづくり協議会主催の原田公園まつりへ協力（出店）
- ②校内美化活動
 - ・校舎回りの草刈り活動
 - ・校舎内の清掃活動
- ③会報誌「せんだん」の発行の仕方を変更

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
－具体的な効果－

- ①協議会主催のおまつりに PTA として出店をしたことで、地域の活動に貢献できた。たくさんの子供達が店に来てくれた。
- ②地区ごとではなく、学年ごとに活動場所を決めて行うことにした。クラスの仲間や学年の仲間と一緒に楽しそうに活動する姿が見られた。休みの日の開催だったにも関わらず全校児童の3分の1以上の参加があった。
また、本年度より、地域の方々の力を借り、保護者では手の届かない場所や、機械での作業を学校指定日の前週に実施した。それにより、例年の懸案事項（木の伐採等）の解決に繋がった。
- ③外部に依頼して年2回発行していたが、PTA 活動（行事）があった後に、役員が作成し、マチコミを通じて発信することとした。保護者に PTA の活動の様子をすぐに報告でき、PTA を身近に感じてもらえるための、本来の「PTA 新聞」の役割を果たせるようになった。加えて、コスト削減にもつながった。

－反省点－

特になし

－改善案－

地域の事業に積極的に参画し、コミュニケーションを図りながら事業を進めることで、効果が上がることが確認できたことから、次年度以降も地域と協働した形で、事業を進めていく。

- ②今年度清掃場所を学年で固定して行った。来年度も同じ方法で行っていけば1から計画を練る必要がなくなり、PTA 活動の負担軽減になる。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第一小学校 会長氏名 渡邊 嘉人

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

1. 地域企業とのコラボでイベント開催（体験教室・会社見学）
2. 生活指導関係の事業
3. 環境整備活動
4. 学校での体験教室

取り組みの効果

1. ☒ 有 2. ☐ 無（なぜ効果がでなかったのかを□反省点□に記入）
－具体的な効果－

1. 大淵地区の物づくりの体験・見学ができた。
2. まちづくり協議会部会と合同で危険個所の洗い出し活動ができた。
3. ボランティアを募集して校内環境の整備が出来た。
4. 防災体験教室やピザ作り体験など生徒保護者が楽しめたり、参考になる学習ができた。

－反省点－

1. 部員さんの動員が多かった事や、見学は工場のキャパの問題で参加希望者に断りをいれる事があった。
2. 調べて報告をしたが、注意喚起の表示等は行政への申請などが必要で断念した。
4. 防災教室への参加者が役員だけになっている事。

－改善案－

1. 工場見学については、複数回行えるか協議
2. もっと早めに部会と連携が取ればいいのかもしい。
4. PTA 会員が興味がある事の調査が必要か？？

令和6年度 PTA活動最終報告書

学校名 富士第一小学校 会長氏名 山田将史

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①朝の見守り活動・春夏冬の長期休み明け2週間の児童登校時の交通安全活動
 - ・今年度は7箇所の危険横断箇所にて旗振りボランティアをマチコミにて募集し実施
 - ・第一小学校区の交通安全指導者（地域ボランティア）の名前と実施箇所などの調査及び会員へ報告
- ②本部役員（3年役）の輪番制選出から立候補制へ変更
マチコミにて年2回本部役員を募集、また直接声掛けによる募集も実施
- ③令和7年度より地区理事制を廃止
23地区からなる各地区理事は選出しない
- ④クリーン作戦（年2回：プール掃除と草刈り・校舎内清掃）
校舎内清掃では、全トイレを普段できない清掃方法にて入念に実施
- ⑤一小応援団（PTA別組織）のレクリエーションお化け屋敷に協力参加
ボランティア合わせ参加者100名規模・卒業間近な6年生限定企画

取り組み効果

- ①有
 - ・年3回長期休み明け2週間とすることで、負担も少なく集中的に交通安全啓発活動となる
 - ・旗振りボランティア毎回5名ほどで実施、危険個所で直接子ども達に交通指導できる
 - ・地域の交通指導ボランティアの方を保護者が把握することで交通安全啓発に繋がる
- ②有
 - ・本部役員（3年役）を選出する各地区の負担軽減、立候補者の積極的参加による組織活性化
- ③有
 - ・各地区の理事選出の負担軽減、会員の負担軽減、組織のスリム化に成功
- ④有
 - ・通常の学校清掃では行き届かない清掃実施により、子ども達の生活環境が良くなる
- ⑤有
 - ・卒業前の子ども達にとって最高の思い出となり、夜の校舎は今までに無い体験となった

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第二小学校

会長氏名 大塚典彦

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ PTA 担当部員の選出方法変更実施
- ・ PTA 組織改革の周知の為、全保護者対象に PTA 説明会を実施
- ・ 朝の交差点での旗振りを輪番制から、立候補制見守り活動に変更した

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・ PTA 説明会を開催したおかげで一定数の保護者への周知はできた
- ・ 担当部員のくじ引き選出を廃止した結果、役員の負担軽減につながった
- ・ 交差点旗振りの輪番制を『やれる人がやれるときに』のボランティア立候補制にしたことで、児童と一緒に歩いて見守りしてくれる保護者が増えた

－反省点－

- ・ 担当部員を立候補制にしたことで、部員数が減少した
- ・ PTA 説明会の効果が一定数に限られ、部員になると役員をやらされるという印象を未だに持っている保護者がいる
- ・ 旗振り輪番制を立候補制に変更した結果、今まで旗振りがあった所に大人がいない場所ができた

－改善案－

- ・ 担当部員を立候補制にしたことで、部員数が減少した、今後も今まで通りの PTA 活動が続いていくため、立候補してくれる方を増やしていく活動が必要
- ・ PTA の有意義を伝えるため、説明会を恒例行事として今後も周知をしていきたい
- ・ 旗振りに変わるボランティア見守り活動をしてくれる保護者をいかに増やしていくか検討したい

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立田子浦小学校

会長氏名 芹澤佳折

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・イエローレシートキャンペーン
- ・PTA 奉仕作業
- ・次年度役員選出
- ・PTA 給食試食会
- ・コサージュ注文

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
－具体的な効果－

・給食試食会

学校の給食メニューを保護者の方に試食してもらい、栄養バランスや味について理解してもらうことができた。栄養士さんから調理方法などの説明していただき、食育の重要性だったり、給食に対する理解と信頼が深まったりした。

・PTA 奉仕作業

子供たちの愛校活動の時間に、奉仕作業をやったことで、親子で作業ができたり、地域の方々とのつながりを深めることができた。

－反省点－

－改善案－

令和6年度 PTA活動最終報告

学校名 富士市立岩松小学校

会長名 佐野 将哉

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・昨年度より、組織や活動をスリム化し、「できる人が、できる時に、できることを」の方針で活動を進めた。今までの流れで実施して無駄なもの、また効果の薄いものについては、積極的になくし、役員の労力低減に寄与した。
- ・理事会の参加が難しい方もいるため、Zoomを使用した遠隔での参加も新たな試みとして実施し、役員の労力低減につながった。
- ・次年度のPTA役員決めについて、本校は地区毎に一定数選定していたが、今年度より地区選定→公募制にした。
募集の結果、多くの皆様に賛同いただき、来年度以降の役員も決めることができた。
- ・スポーツフェスタやクリーン大作戦等のイベント、またプール清掃や新体力テスト等の手伝いについて、ボランティアの皆様に前向きなご協力をいただけたおかげで、役員の労力がかなり低減し、大変助かった。

取り組みの効果

1. ☒ 有 2. ☐ 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・ベルマーク回収については、労力と効果を考慮して回収を廃止とした。
ベルマークは点数、大きさ等が様々であり、仕分けに大きな労力がかかっていたため、役員の労力低減に寄与した。
- ・各活動のボランティアの皆様に、お茶を提供することを始めた。
小さなことではあるが、少しでも感謝を伝えることができ、このような積み重ねが継続的なボランティア活動に繋がるものと感じる。
- ・次年度のPTA役員決めについて、本校は地区毎に一定数選定していたため、今年度の役員が中心となって決めることに、大変な労力がかかっていた。
今年度より地区選定→公募制にしたことで、役員の負担を軽減することができた。
募集の結果、多くの皆様に賛同いただき、来年度以降の役員も決めることができた。

－反省点および改善点－

- ・役員の労力は低減したと思うが、会長の労力軽減は比較的少なかった。
市P連、学童、まちづくり協議会等の外部の集まりもあることも一つの要因と考え、この点も会長職を受けていただきづらいことに繋がっているものと感じる。
→学童は引き続き基本的に副会長が対応すること。
→市P連は会長が対応するべきだと思うが、まちづくり協議会の役員（出席）は会長、副会長に代行して他のPTA役員でも良いと感じるため、可能であれば検討いただきたい。→皆で分担していけるようにする。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡小学校 会長名 日高 綾子

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・「かけこみ110番のいえ」親子で確認の実施
- ・P T A奉仕作業（プール、学校の外周りの清掃）
- ・P T Aウォーターバトルの開催
- ・卒業生へのコサージュ贈呈

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・奉仕作業においては、P T Aの保護者に加え、地域の消防団の協力を得て、消防車からの放水を行っていただいたおかげで、短時間で効果的にプールをきれいにすることができた。
- ・今年度始めた実施したウォーターバトルでは、200人ほどの子供と保護者が参加し、障害物リレーや水鉄砲を使用したゲームを行い、参加したみんなが笑顔になることができた。
- ・令和5年度にP T A会則を改正して、令和6年度より組織の大幅な改変を行ったことで、役員の負担を軽減でき、誰もが参加しやすいP T A活動の実現に近づくことができた。

－反省点－

- ・今年度は、P T A役員を15人と大幅に削減したことで、会長に掛かる負担が増えてしまった面があった。各事業における役員の役割分担の明確化が必要になる。
- ・地区における役員の選出においては、令和6年度より地区で1人の選出と変更されたため、かえって役員選出が難航する地区も見られた。よりよい選出の仕組みなどを考えていく必要がある。

－改善案－

- ・ウォーターバトルの実施時期が、9月の下旬と少し涼しくなる時期だったので、来年度実施する場合は早い段階で実施日を決めて、適切な気候条件のもと実施できるようにする。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立広見小学校

会長氏名 濱嶋 祐樹

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ PTA・CS 合同奉仕作業の実施
- ・ プール清掃の下準備
- ・ 運動会への協力（準備、片付け、見回り）
- ・ グランドゴルフ大会の実施
- ・ 1年生交通教室、6年生交通安全を語る会への協力
- ・ 給食試食会の実施

取り組みの効果

1. (有) 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・ 年2回の奉仕作業では、親子参加にすることで、親子で楽しみながら草取りやトイレ掃除を行うことができた。
- ・ 6年生がプール清掃をする前に草取りをしたりプールサイドを磨いたりすることで、子供たちの支援をすることができた。
- ・ 運動会では、熱中症対策のために多くのテントを設置することができた。また、応援席や駐車場の見回りをすることで、運動会を安全に行うことができた。
- ・ PTA活動を活性化するために、グランドゴルフ大会を実施した。親子、教員共に楽しく活動することができた。
- ・ 1年生の交通教室、6年生の交通安全を語る会に協力したことで、児童の安全を守ったり、地域における児童の交通事情について把握したりすることができた。
- ・ コロナ禍の影響で実施していなかった給食試食会を再開したことで、多くの方が関心をもち、参加した。給食をおいしく食べるだけでなく、栄養教諭の説明をうなずきながら聞く方や、子供の配膳風景を楽しそうに参観する方もいた。

－反省点－

- ・ 活動へ参加する方が固定化されていた。
- ・ 奉仕作業への参加人数が年々減少しており、十分な作業ができなかった。
- ・ 新役員の確保が難しかった。

－改善案－

- ・ PTA活動の目的を広報し、多くの方に協力をお願いする。
- ・ 子供や保護者が参加しやすい活動を企画する。
- ・ CSDを通して地域と連携し、教育活動の効果を高める。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立丘小学校 会長名 増田圭佑

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・持続可能な PTA 活動を目指して、各部の活動を精選するとともに、事前準備や片付けなどの負担軽減を図る。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

【執行部】

- ・PTA 総会の書面開催。資料はマチコミメールに PDF を添付する形にし、印刷や配付の作業を省いた。各家庭からの意見も MicrosoftForms のアンケートを利用。（4/25 賛成多数により承認）
- ・メールを使い、執行部の役員同士で連絡や報告を行った。

【成人教育部】

- ・12月に親子アカデミー（風船ロケット飛ばし）を実施。参加申込は MicrosoftForms のアンケートを利用。
- ・PTA 新聞第10号～第13号の発行。紙での配付はせず、学校ホームページに掲載した。

【体育保健部】

- ・11/4（日）親子グラウンドゴルフ大会を実施。参加申込は MicrosoftForms のアンケートを利用。約80名参加。
- ・昨年度はコースが長く、小さい子には負担感があるということだったため、今年度はコースを見直し、負担なくできるようにした。

【環境整備部】

- ・5/18（土）PTA 親子奉仕作業（草取り）を実施。出欠席の確認はとらず自由参加としたが、約180名参加。運動会前に学校をきれいにすることができた。
- ・10/19（土）PTA 奉仕作業（校舎内の清掃）を実施。約100名参加。参加申込は MicrosoftForms のアンケートを利用。校舎内の高い所を中心に清掃を行った。

【生活指導部】

- ・旗振り当番の割り振り。毎月2回の校区内巡視。
- ・かけこみ110番の家の募集と継続確認。（5～9月）
- ・6/25（火）交通安全リーダーと語る会に参加。
- ・次年度の役員数の決定。令和7年度 PTA 役員名簿の作成。

【家庭教育部】

- ・11/26（火）1・4年生の保護者を対象に給食試食会を実施。約45名参加。
- ・卒業生の保護者へのメッセージカード作りの依頼。（1～2月）

- ・ 2 / 4 (火) コサージュにメッセージカードを梱包。昨年度はコサージュを手作りしたが、メッセージカードで思いを伝えるのみにした。

ー反省点ー

- ・今年度も活動募集をオンライン上で実施したが、まだまだ参加人数が少ないと感じた。
- ・生活指導部が朝の旗振り当を各家庭に割り振っているが、負担感を感じている保護者が多い。

ー改善案ー

- ・次年度も引き続き、役員の負担軽減を図りつつ、ある程度の活動は維持していきたい。
- ・旗振りについては令和7年度中に実施方法を見直す予定である。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士見台小学校

会長氏名 竹本建一

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・役員をブロック選出制からエントリー制に移行しての初年度である。
- ・「PTA」という名称を「すまいりーず」へと変更。
- ・「やれる人が、やれるときに、やれることを行う」という活動方針に賛同し、10名ほどのすまいる委員(事業を推進する方:旧PTA役員に相当)が集まり、事業を実施してきた。すまいる委員同士の仲が深まり、楽しく活動を行うことができた。
- ・事業の実施をゼロベースで見直した。実施事業は以下の通り。
 - 「すまいるミーティング」(旧PTA総会)
 - 「オータムイン富士見台 出店」(ひもくじ、ブックフリーマーケット)
 - 「すまいるイベント」(吹奏楽演奏会)
 - 「すまいる給食試食会」
 - 「すまいる清掃」(地域サポーターと合同での校内清掃)

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

ー具体的な効果ー

- ・すまいるミーティングには、用意した座席数を上回る数の出席数で関心の高さがうかがえた。
- ・すまいる委員のLINEグループを作成して情報共有を行ったことで、会合の回数を減らすことができた。
- ・「オータムイン富士見台への出店では、委員が自発的に学校に集まって個々に作業を進めるなど、連絡を取り合いながら効率的に行うことができたため、負担感はあまり感じることなくできたことがよかった。
- ・富士見台サポーター(学校を支えるボランティア)と共催で校内清掃を行ったことで、普段のサポーター清掃よりも多い人数で清掃活動を行うことができたため、より広範囲の場所まできれいにすることができた。
- ・来年度のすまいる委員募集にも、10名弱の応募があり、活動を継続することができてよかった。

ー反省点ー

- ・特になし

ー改善案ー

- ・特になし(今年度も実施事業を話し合い、楽しく進めたい。)

令和6年度 PTA活動最終報告

学校名 富士市立富士南小学校 会長名 太田 瑛子

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 ききょう新聞発行（年2回）
- ・生活指導部 放課後パトロール、駆け込み110番の家へのお願い
- ・環境整備部 奉仕作業、古紙回収、学区公園清掃活動
- ・体育保健部 プール清掃、南小体育の日協力
- ・家庭教育部 南小体育の日参加賞・卒業生コサージュ準備
- ・ふれあいクラブ 「親子ふれあい教室」開催
- ・執行部 PTA理事・部員選出会事前打ち合わせ

取り組みの効果

1. ④
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを「反省点」に記入）

—具体的な効果—

- ・成人教育部 親しみやすいデザインのPTA新聞で、多くの方から好評を得た。
- ・生活指導部 駆け込み110番の新規開拓ができた。
- ・環境整備部 奉仕作業で、多くの保護者と児童に参加していただき、運動場や校庭等きれいにすることができた。
- ・体育保健部 南小体育の日で、見回りやパトロール等スムーズに行うことができた。
- ・家庭教育部 南小体育の日参加賞・卒業生コサージュの準備を通して、子どもたちが意欲的に取り組めるようサポートできた。
- ・ふれあいクラブ 親子で楽しめる体験型の企画「親子ふれあい教室」を開催した。
- ・執行部 PTA理事・部員選出について、年に数回事前打ち合わせの場を設けた結果、選出会をスムーズに行うことができた。

—反省点—

- ・ビブスを着用する方が少なく、定着させるにはどうしたら良いか。
- ・古紙回収について、回収時間が短く持参しても出せない人がいたかもしれない。

—改善案—

- ・ビブスは理事が積極的に着用し、改めてビブス着用の本来の目的を全体に周知する。
- ・古紙回収は、回収終了時刻を明記する。また、一般家庭から出る牛乳パックを回収対象にすることも検討していく。
- ・全体的に会員の負担軽減策として、将来的には部員を廃止し、ボランティアとしてお手伝いしていただける方を都度募集する形をとる方向で検討していく。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立天間小学校 会長氏名 石川 杏

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

【各専門部で輪番】

- ・毎月15日を基準に、学区内3か所にて朝の登校指導

【本部】

- ・天良会合同PTA奉仕作業（年3回）
- ・PTA説明会の実施

【成人教育部】

- ・PTA新聞作成に向けた取材活動を実施
- ・PTA新聞年2回発行

【生活指導部】

- ・かけ込み110番の家へ挨拶
- ・長期休み明け登校指導を実施
- ・各家庭に安全ベストを配付

【環境整備部】

- ・米作り活動への参加
- ・餅つき体験の手伝い

【体育保健部】

- ・運動会の用具の片付け
- ・プール清掃の手伝い

【家庭教育委員】

- ・卒業生へのコサージュの購入
- ・給食試食会の実施（年2回）※配膳等のお手伝い

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを－反省点－に記入）
－具体的な効果－

【成人教育部】

- ・PTA活動、学校行事での取材活動を予定通り行うことができた。

【生活指導部】

- ・長期休み明け登校指導は、無理のないように実施した。

【環境整備部】

- ・米作り活動を支援することができた。学校や地域、PTAとの連携・協力ができている。

－反省点－

- ・PTA説明会を行ったが時期が遅かったので、年内に終わるように計画していく。
- ・組織決めに時間がかかってしまった。早めに役員の決定をする。

－改善案－

- ・各専門部の活動について、活動内容の変更、実施方法の工夫等を図っていく。
- ・役員決めの時期を見直す。
- ・部を統廃合し、役員数の確保と活動の充実につなげる。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松北小学校 会長名 山崎 良平

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 奉仕作業1：プール清掃
- ② 奉仕作業2：トイレ清掃
- ③ 地区パトロール及び「かけこみ110番のいえ」の確認

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ① 奉仕作業1：プール清掃
 - 子供たちとともに活動することで、有意義な活動となった。
 - 子供たちが、気持ちよく、水泳授業を受講することができた。
- ② 奉仕作業2：トイレ清掃
 - 年に一度の酢酸を用いた本格的なトイレ清掃により、1年を通してにおいの軽減したトイレを維持できた。
 - 短時間で行うことができ、
 - 親子で参加できるようにしたため、楽しく活動できた。
 - 名札を付け、保護者同士がコミュニケーションを取りながら行えた。
- ③ 地区パトロール及び「かけこみ110番のいえ」の確認
 - 年度初めに子供たちとともに、教職員・保護者が各地区のパトロールを行い状況の確認することで、事件事故の未然防止に効果があったと考えている。

－反省点－

- ①動きが分かりにくかった。協力してくださる方に分かりやすく段取りを示せるとよかった。有志の役員で行っているため、中心となる役員がいない。
- ②参加人数がもう少し増えるとよい。トイレだけでなく他の場所もできるとよい。
- ③参加人数がもう少し増えるとよい。

－改善案－

- ・参加しやすいPTA活動（子供も一緒に・学校行事と兼ねる 等）
- ・マニュアルを作成する。役員で分担する。などある程度の組織体制を継承していく必要がある。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士中央小学校

会長氏名 落合 麻美子

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

「子ども達の安全で充実した学校生活」を保つことを念頭に、P T A会員の負担軽減と持続可能な活動に向けて、P T Aの活動内容を精査した。

- ・ 地区役員制度の廃止
- ・ P T A新聞を今年度よりデジタル配信に切り替えた（成人教育部）
- ・ 安全を保ちつつ、P T A会員の負担軽減する方法を検討した（生活指導部）

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
－具体的な効果－

各部の事業内容を精査し、今後も継続すべき事業の見直しができた。それにより、P T A会員、本部役員の負担軽減にもつながった。

－反省点－

さらなる子ども達の安全を保つため、登下校の見守りボランティアの周知、地域の方々が協力していただいていることへの周知をしていく。また、保護者も「できる時に」見守りできる方法を検討したい。

－改善案－

各部の活動の見直しをしてきたが、来年度また活動をしながら、修正、検討をしていきたい。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立青葉台小学校 会長名 渡邊 高幸

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

【生活安全部】

- ・朝の旗振り当番表の作成を大幅に見直した。今まで朝の時間帯に旗振り当番を設けていたが、登下校の見守りとし、時間帯の見直した。1か月を2学年で担当し、自身の都合のよいときに参加する形とした。さらに、地区の危険個所を地図に書き込んだものを全世帯に配付した。

【文化教養部】

- ・P T A新聞の発行（年に1回）

【環境整備部】

- ・親子奉仕作業の実施（5月と10月）
5月は役員と部員のみ、10月は全世帯対象として行った。

【体育保健部】

- ・あおぼみんなのスポーツ祭の協力と参加、学校敷地内安全点検

【家庭教育委員会】

- ・給食参観の実施

【P T A理事会】

- ・P T A役員選出方法の話し合い

取り組みの効果

1. ☒ 有 2. ☐ 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・P T A理事会にて、各部の活動内容の見直しと役員選出について話し合った。各部の活動内容を「持続可能なもの」という観点で見直しを行い、役員の定数や任期などを改定した。専門部長や副部長といった役職は置かず、運営委員として役員を募り、活動ごとに相談や分担をして企画・運営を行っていくこととした。会長付きの副会長及び運営委員を公募により選出することができた。役員選出方法の改革を行うことができた。
- ・給食参観を行った。学校栄養士の話の聞いたり、子供たちの配膳の様子を参観できたり、有意義な時間になった。

－反省点－

- ・朝の旗振り当番表の作成という負担は減ったが、自身の都合の良いときに参加するという形にしたため、登下校の見守りに実際どれくらいの保護者が出ているか、把握できていない。

－改善案－

- ・月の始めにマチコミで呼び掛け、参加してくれる人を増やす。また、参加の実態を把握し、当番表を作成した方がよいかを検討していく。

令和6年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第一小学校

会長氏名 百瀬 義隆

令和6年度重点活動の具体的な取り組み内容

活動テーマ：会員の負担感を減らし、持続可能なP T A活動を目指して

具体的取組① 組織系統を生かした運営

具体的取組② 活動ごとのボランティア募集方式

取り組みの効果

1. 有

2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

① 組織系統を生かした運営

P T A主催のイベントについて、本部・運営委員会を中心に計画立案・検討、準備を行った。これにより、活発な意見交換、素早い決定が可能となり、軽快に計画遂行することができた。

P T A役員や教員は、参加すべき会合の数が減り、時間的な負担は大きく軽減された。

② 活動ごとのボランティア募集方式

環境整備作業やP T Aふれあいフェスタでは、その都度ボランティアを募集し、参加者を募った。P T Aだから、役員だから、参加しないといけない……という、無言のプレッシャーが無くなり、会員、役員の精神的負担が軽減された。

－反省点－

① 組織系統を生かした運営

本部・運営委員会の限られたメンバーを中心に計画を進めることで、会合に参加する必要がなくなり、時間的な負担が軽減された一方で、P T A会員、役員としての意識が低下し、他人事的な風潮も感じられた。

P T A主催のイベントを実行するまでには、本部・運営委員会の負担はこれまでと変わっていない。その分、やりがいや達成感以外の部員よりも大きく感じられるが、持続可能な活動のためには、本部・運営委員会の負担も軽減する必要があると思われる。

② 活動ごとのボランティア募集方式

自らの意思で活動に参加を表明する意味で、ボランティア募集方式を採用したが、ボランティアだから参加しなくてよいという誤った認識をもったためか、応募が極端に少なかった。運動会の準備・片付け、環境整備作業、ふれあいフェスタ等、少ない参加者での運営を強いられたため、参加者の負担は大きかった。

－改善案－ ※次ページへ

－改善案－

① 組織系統を生かした運営

本部・運営委員会の会合を精選し、参加についても分担制にすることで、負担を軽減する。

本部・運営委員会で検討した内容を、その都度役員で共有することで、PTA活動へ参加している意識を高める。

② 活動ごとのボランティア募集方式

それぞれの活動の意義を会員に伝え、ボランティア参加への意欲を喚起する。

ボランティアが運営の頼りであることを広報し、参加意識を高める。

ボランティアの募集開始を早め、応募状況を伝えることで参加を促す。